


【指 定】 取扱注意


【文書番号】 総 第 号


【決裁終了】 令和2年 5月 2/ 日

年 月 日


【決 裁】


検事総長 


次長検事 

総務部長 

監察指導部長 テレフ.7

事務局長 

総務課長 

課長補佐 

【取扱者】 起案：5月 2/ 日 \ 校正： 月 日 発送： 月 日

【起案文】

職員の職責について

東京高検職員による非違行為事案に係る職責の量定について、官房人事課に別紙案のとおり内議することとしたい。

最高検総第124号  
令和2年5月21日

法務省大臣官房人事課長 濱 克彦 殿  
(法務省刑事局長 経由)

検事総長 稲田 伸夫  
(公印省略)

職員の職責について (内議)

非違行為事案について、関係職員の職責を問う必要があると思料するので、下記のとおり意見を付して内議します。

記

第1 職責対象職員

官職・氏名 東京高等検察庁検事長 黒川 弘務  
生年月日等 昭和32年2月8日生(63歳)  
経歴 昭和58年4月 任官  
平成23年8月 法務省大臣官房長  
平成28年9月 法務事務次官  
平成31年1月 現職(東京高等検察庁検事長)

第2 対象事実の要旨

対象職員は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の自粛要請期間中である令和2年5月1日頃及び同月13日頃の2回にわたり、東京都内に所在するマンション一室において、報道関係者ら3名とともに、金銭を賭けて麻雀を行ったものである。

第3 職責についての意見

「黒川弘務東京高等検察庁検事長に関する記事についての調査結果」及び「黒川弘務東京高等検察庁検事長の職責についての検討結果」を踏まえて検討したところ、監督上の措置として「訓告」とすることが相当。

第4 処分希望日

令和2年5月21日